隔月発行
発行所
平塚市役所
神奈川県平塚市平塚新宿1.195番地
電話 1261～1268番
印刷所 井上印刷所 電話773番

第四十五號

平塚市広報

平塚市の人口と世帯数
昭和30年7月1日現在
（推計人口）
人口 67.136人
世帯数 14.520世帯
前月に比して（156人 53世帯）増加

8月1日―15日

起ち上りましょう 原水爆禁止運動 署名運動など実施

思えば十年前広島、長崎におちた原爆は、第二次世界大戦を中止せしめる決定的な要因ともなった恐るべき兵器でありました。

家を焼かれ、親を失い、子を亡くし、焼野原に立って国民一人一人の胸に去来したものは、深い虚脱の気持ちでありました。なんともいえない虚脱状態から、ただ生きるためこの十年間傷痍の身で食糧難、住宅難、就職難と戦ってきたのであります。十年経った今日迄、私達は日夜原子兵器の脅威にさらされております。

最近原子力の問題は全国的に大きく取り上げられ、各市町村及び各種団体による原子兵器の使用禁止、原水爆の実験中止又は原子力の平和的利用等を内容とする決議がなされると真剣に運動を展開しております。当市におきましても、終戦の八月十五日を目標に左記のとおり原水爆使用禁止運動を展開いたします。皆さんの御理解と御協力により所期の目的が達せられますよう御願いいたします。

一、趣旨

原子兵器、即ち原水爆の唯一の犠牲者であるわが国民は、去る三年前にも原爆の千倍にも上る威力をもつ水爆実験によってまた災害を蒙った。日本国民の脳裡より一生忘れさることのできない誤謬である。

示威国民の間に原子力に対する関心が一層高まり、最近全国的に各市町村及び各種団体による原子兵器の使用禁止、原水爆の実験中止又は原子力の平和的利用等を内容とする決議がなされ、一方国民運動として原水爆禁止の意志表示を一層新たにすると共に、この原水爆の軍事的使用が、人類受けた国民的衝動の激しかったことによる破壊兵器の使用を決意する国民があるとは考えられません。唯一の犠牲者たるわが国民としてみれば、不安にたまらぬのも、もっともなことと申します。

これはアメリカにたいしてのみ言うべきことではなく、ソ連に対しても同様なことが出来ません。出来ることならば、唯一の犠牲者たるわが国民としてみれば、不安にたまらぬのも、もっともなことと申します。ひろく、

蚊とはえをなくす運動

夏は開放的で、海・山にほんとうによい季節です。家族づれで手近なプールへ行くのもよく、友達と誘いあわせてハイキングをこころみるのも楽しいでしょう。これで蚊とはえがいなかったら日本脳炎、赤痢、チフス等の心配も少く一層楽しいものになります。夏の邪魔者、蚊とはえの問題は、毎年大きく取上げられながら、この悩みは未だに解決いたしません。それは根本的な解決策がないためでしょうか。解決策はありますが費用がないからです。蚊もはえも発生する場所を完全になくすれば一匹も出ないわけです。便所はすべて水洗式に改める。下水を完備する。ごみを完全に処理する。畜舎を改善する等、環境衛生を高度に改善すればよいわけですが、それには莫大な費用がかかり、すぐ実行にうつすことは困難です。

しかし皆さんが、蚊とはえをなくそうという意欲に燃えて真剣にこの問題と取組めば、それ撲滅用をかけなくても環境は美化され、蚊とはえのいない理想郷が実現いたします。これが撲滅生産絶地区で全国では三、五〇〇箇所以上あり、ここに住む人たちは、自分の家は自分の手で、私たちのまちは私たちの手できれいに、蚊とはえの発生源をなくそう と懸命に努力しております。厚生省の蚊とはえをなくす運動三箇年計画の狙い

日本脳炎が流行します

日本脳炎は、十年目毎に大流行するといわれます。昭和二十三年が流行の年でしたから、十年目といえば、今年は流行の年には当らないわけですが、梅雨長雨で急に暑くなったため、毎日各地に患者が出ております。日本脳炎は少者に多い病気で、死亡率が高いばかりでなく、治っても いろいろの身体障害を残す恐ろしい病気です。予防法としては、予防接種（希望者に実施計画中）もありますが一般的には

①身体を無理しないで健康に注意すること。

②蚊にさされないようにすること。

③炎天下では、必ず帽子をかぶること。

④子供を日陰りに、長い時間外で遊ばせないようにすること。

⑤頭がいたんで、熱が出たらすぐ医師の診察をうけること。

はえとりデーときめ、家中揃ってはえとりをやってみましょう。

中共にはハエがいなくなったといわれますが、その駆除方法は、DDT、BHCよりはえたたきが功を奏したようです。見つけたら殺すればはえをなくす運動には欠くことのできない喜業です。

国連ポスターの懸賞募集

一、趣旨

国連憲章が効力を発生した十月二十四日を記念し、国連の理解とその協力を促進するため、国連創設十週年の国連デー行事の一つとして懸賞により国連ポスターを募集する。このポスター募集は日本国際連合協会で実施する第三回コンテストに参加するものであるからその神奈川県本部予選を兼ねるものである。

二、ポスターの内容

国連憲章にもられている精神「世界平和」「人類の福祉増進」等が表示されているか、「国連十年」「国連デー」「十月二十四日」「国連ポスター」「TOWARDS A BETTER WORLD」等の文字が適宜挿入されたもの。

三、大きさ、色彩

原則として新聞全紙の半載（即ち新聞紙一ページ大）又は四ツ切（即ち二分の一ページ大）色は五色以内とし、絵具、クレオンの種類は自由とする。

四、応募資格

平塚市内在学者、在住者

五、募集ポスターの種類

A……小学生の部、B……中学生の部、C……高校生の部、D……一般（大学生を含む）の部の四種類

六、締切期日

九月十日

七、平塚支部の賞入選（各種目別ごとに）

各五名　計二十名

佳作（各種目別ごとに）

各五名　計二十名

八、入賞作品の神奈川県本部への送付

平塚支部入賞作品のうち各種目別ごとに八点（入選作品五点、佳作作品三点）を神奈川県本部に送る。本部において審査し入賞作品を日本国連協会に送る。

九、入賞発表

九月二十日頃発表各学校へ通知

十、その他

応募作品は返却しない。作品の裏面に住所、氏名、職業（生徒は学校名及び学年）年令を記載する。

十一、送り先

平塚市役所庶務課内

十二、審査員

国連神奈川県本部平塚支部役員

8月の平塚競輪

（鎌倉市営）

25・26・27・28

夏の栄養心得

暑くなると一般に食欲が衰えてお茶づけに漬物つた淡白なものを好んでとり、その結果健康が低下して夏やせを来しやすい。

これを防ぐには万べんなく各種の栄養素をとること、ことに脂肪魚や肉類、牛乳等を努めてとることが大切で十用丑のうなぎもきわめて合理的で暑くなるこの時期に食欲があるが、天ぷら、カツレツといった濃厚な食品も意識して食べるようにしたい。といっても、気温がひどく昇る感に食欲に作用するから、調理のしかたを工夫して生ぬるいものを避け天ぷらや、いた（炒）めもの、ごはん等もなるべく熱いうちに食べるとか、反対に サラダ、さしみ、牛乳等を冷して供するような注意が望ましい。また野菜や果物の豊富な季節であるから、これらの新鮮なビタミン源も充分にとりたいものである。

十月一日は国勢調査

本年十月一日午前零時を期して独立後始めての国勢調査が行われます。この調査は大正五年以来、第八回目の人口調査であります。戦後十年を経た今日、日本国内には一体どれ位の人々が居るでしょう。本調査は、わが国の人口数とその構成内容を明らかにして、国家の生産計画や、食糧政策等がすべて人口に基礎を置き、国会議員地方公共団体の議員数の決定、地方財政配分等の基本政策、失業対策、住宅対策等各般の行政の基本にすることになるとともに、調査する事項は、住宅関係事項を含めて十四項目になっています。

まず、①氏名、②世帯主との続柄、③男女の別、④出生年月日、⑤配偶関係、⑥国籍、以上人口の、基本事項六項目については、各世帯の世帯主に記入して戴く事項であります。次に昭和十六年末までに生まれた人については、昭和三十年九月二十四日から三十日までの一週間の期間における産業、及び職業活動の状況把握について、調査員の方々がお尋ねいたしますかもしれません。

「国勢調査」懸賞募集！

◇問題

本年十月一日午前零時現在、平塚市の常住人口数は何人でしょうか。

◇申込方法

官製ハガキを使用し、住所氏名、年令、職業を明記すること。申込数は一人一点とする。

◇締切期日

九月三十日まで、但し九月三十日の消印あるものは有効

◇賞

一等　壱千円　一点

二等　五百円　二点

◇発表

十一月下旬市内掲示板、十二月一日発行の市広報に発表する。

その他不明の点は市秘書課統計係まで御問合せ下さい。

ヒント　昭和三十年四月一日現在人口六五、五三四人毎月平均一五〇名位増ず。

投書欄

予防接種料について

質問　予防接種の料金が高くて、子供が多い場合に受けさせることができない。なんとかならないか。

答　予防接種は予防接種法に基いて実施しております。料金は法第二十三条により、本人又は保護者から実費を納入していただくことになっておりますが、経済的理由で納入できない人は、その旨を申出て下されば減免いたします。一人でも多く予防接種を受けて、伝染病の発生を防止することが目的ですから、そのような場合は遠慮なく係員へ申出て下さい。

なお予防接種の料金は左記のとおりです。

記

●チフス	
初回免疫（三回接種）	三〇円
追加免疫（二回接種）	一〇円
●種痘（検査を含む）	
初回免疫（三回接種）	三〇円
追加免疫（二回接種）	一〇円
●ジフテリヤ	
初回免疫（三回接種）	三〇円
追加免疫（二回接種）	一〇円
●百日咳	
初回免疫（三回接種）	六〇円
追加免疫（二回接種）	二〇円
●ツベルクリン反応	一〇円
●B、C、G	二〇円
●日本脳炎	
初回免疫（二回接種）（本年度より希望者に実施の予定）	八〇円

野犬捕獲について

質問　野犬がふえて困るが、野犬狩はどうなっているか。

答　飼主のない純粋な野犬より、飼主があっても定期の登録を注射もしないで、野犬同様に飼われている犬が多いようです。又屋根は犬をつないでいても、夜になると放す人が多いため、夜半過ぎから犬が群なし、通行人をおびやかしたり、鳥小屋を襲ったりすることもあると思われます。定期登録のすんだ六月下旬、保健所と協力して地区を定め野犬狩を行い、一日で三三頭捕獲し、又無登録犬の調査をして、一一〇頭のり出しに成功いたしました。今後も、保健所と連絡を密にして、野犬捕獲は一段と強化いたします。犬がつれて行われるのは可哀想だとかくしたり、逃したりしたのでは成績が上りませんから、当日は皆さんの御理解と御協力をお願いいたします。（衛生課）

氷菓子の衛生

アイスキャンデーやアイスクリームを食べておなかをこわすと、これらの氷菓子の中には菌がはいっていて病気になったものよりも、冷いものをたくさん食べて一層消化の働きが弱ったり、暴飲暴食をしたあとで、冷いものを食べたりすると、消化機能が衰えて（消化液がうすくなる）胃液の分泌がわるく、消化機能が弱くなり、胃腸の病が多く、腹痛、下痢、嘔吐、発熱、食欲不振を起したりすることになる。

氷菓子類の製造にはとくに厳重な食品衛生監視を行っているから正規に作られたものは安心だが、いろいろ暑い夏入れ時になると、原料の殺菌を怠ったり、反対に雨降って急に需要がへったりすると、残りものの古い原料（牛乳等）を使ったりして事故を起すことがあるから、業者の方は充分気をつけることは勿論ですが、市民の皆さんも特に気をつけましょう。

短期の作業に日雇！！

◎庭の草刈り掃除・どぶさらい・大掃除・引越しの手伝等に

◎工場倉庫の整理片付け・トラックの上乗り・その他雑役に

日雇労働者をお使い下さい。

お使になった市民の皆様によろこばれています

申込はお使用当日の午前七時までなら何時でも結構です。

電話十三番　労働係

平塚市平塚東浜岳三、六〇九

平塚公共職業安定所

（平塚駅南口下車五分）

自治宝くじ

第八回　関東、中部連合

一等　二百万円

◎一枚　五十円◎

発売期間　八月一日から八月十五日まで

第九回　関東、中部連合

一等　二百万円

◎一枚　五十円◎

発売期間　八月十六日から八月三十日まで

遺家族の皆さんにお願い

いま、この平塚の市内には、西南役以後の戦死者の遺家族が千三百軒ございます。図書館ではこの遺家族を一軒一軒訪問して、戦死、戦病死者の、戦際の調査を始めております。これは、戦争の是非はともかくも、お国の為に出征され散花されたその勲功を、永く後世に残すべく、平塚市史の一編として顕彰編を作成する為です。七、八、九月の三ケ月間に、全部調査してしまいたいと、馬力をかけておりますが、なにかへ、終戦後十年にもなりますので、調査に上りますと「ハテ、陣没公報はどこへ しまい込んでしまったか知ら」「部隊長からの手紙が有った筈」が、なかなか、書類が行方不明で、一軒の家へ、三度も四度も足をはこばないことには用が足りません。これでは仲々仕事がはかどりませんので、未だ調査員の方にはない遺族の方のお宅では、陣没者本人の氏名、生年、経際、戦際、死亡年月日、階級勲等、学歴、職業、遺族の氏名、部隊名、死亡の場所墓碑銘、更に部隊長からの手紙、本人からの陣中便り、戦友からの手紙、また本人についての思い出等、等をあらかじめ準備して頂き、調査員に御協力できるよう、どうぞお願いします。

次に、御参考までに顕彰編々集予定の大略を御紹介申上ます。

①顕彰編構成の内容（相当者略）

口絵　出征兵士送迎英霊帰還状況

①西南戦役以後各戦役の概況

②陣没者死亡の地を示す略地図

③陣没者経際調査

④遺族会について

⑤元在郷軍人平塚分会について

⑥傷病軍人会（氏名を含む）

⑦出征兵士送迎英霊帰還状況

⑧兵事係の苦心

⑨編集進度の予定

資料調査期　三十年七月より九月

調査整理期　三十年十月より三月

原稿浄書期　三十一年四月、七月

稿本完了期　昭和三十一年九月

但し、自治功労者、教育功労者、社会事業功労者、篤功者等は編顕碑銘、更に部隊長からの手紙、本人写真、遺族会等の資料を御提供願い、顕彰編として追って編集の予定。

七月二十九日から平塚市役所前にバスの停留所ができました。